

鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.34(2025. 6 月)

社会科同好会編②「世田谷平和資料館見学&台湾に関するお話」

2025年6月14日(土)午後、「池尻大橋」駅南口に集合後、生徒6名、教員3名で「世田谷平和資料館(せたがや未来の平和館)」見学に向かいました。今回は、昭和女子大学附属昭和中高の生徒有志との合同フィールドワークです。学芸員の黄氏による展示解説を聞き、生徒が展示を見ながら抱いた疑問を共有したあと、昭和女子さんの教室をお借りして、学習交流会をおこないました。ご厚意から、「台湾出身の黄さん」として、台湾と沖縄(台湾にとって、隣の島)についてのお話をしていただき、生徒たちからの質問にも答えていただきました。



以下、参加した生徒の感想・疑問を紹介します。(◆感想、◇疑問です)

◆平和資料館では戦争や平和に関する展示を見学する中で、改めて「平和とは何か」について深く考えさせられました。教科書や映像だけでは感じられない現実の重みを感じました。また、戦争が終わった後も傷跡は深く、人々がどのように平和を取り戻そうと努力してきたかも丁寧に伝えられていて、感銘を受けました。

◇台湾の学生はどのくらい政治に関心があるのか。

◆資料館ではこれまで教科書でしか知らなかった戦争の様子が、目の前に現実として迫ってきました。また、実際に見て、なぜ原爆を東京に落とさなかったのか、という疑問が出てきて、東京に落とすと降伏する機能がなくなるという新しい発見ができた。この見学を通して平和は当たり前ではないということが改めて分かりました。

◇台湾の徴兵制度についても知りたいと思いました。

◆台湾のことについて授業外で深く学ぶのはなかなかなかったけれど、今回台湾のことについて知るよい機会になった。中途半端にしか情報を得ていなかったけれど、台湾にも兵役制度があることや、詳しい統治体制について新しく知ることができてよかった。

◇中国と台湾の関係について実際に現地の人はどう思っているのか。

◆シベリア抑留の情報とか別の資料館で見たことがあるものもあれば(※帰還者たちのミュージアム@新宿、ですね)、一度学んだことにプラスで知ることができることもあって、よい学習になった。特に慰安婦の問題とかは、日韓交流で学んで衝撃を受けたけど、朝鮮だけでなく東南アジアや台湾などさまざまな人々が被害にあっていると知って、活動だけで学びきるのは難しいと思ったし、興味の有無関係なく自ら学びたいと思った。

◇慰安婦問題についての展示によると、様々な国の人が被害にあっていたが、朝鮮以外にも大きく声を上げている国はあるのか。戦争時、日本以外でも慰安婦を設けて被害を与えた国はあるのか、(あるならば)被害を与えた国と与えられた国の現在の関係はどんな感じなのか。

◆歴史では文面上で戦争を学んだけど、実際の資料を見ると平和のありがたさ、戦争の恐ろしさを知った。台湾について詳しく知らなかったけど、ファンさんのお話で、台湾についてよく知ることができた。